

四十七名の新入園児を迎え

園児数は石井27名、東館67名に

石井、東館 きょう両幼稚園で入園式

二町の立入園式は、平成20年度がスタートした。今年度、石井幼稚園と東館幼稚園で合わせて47名の新入園児を迎え、入園式が行われた。石井幼稚園は、男子27名、女子13名、計40名。東館幼稚園は、男子30名、女子37名、計67名。入園式は、両園ともに午前10時から午後2時までの間、それぞれ園舎で行われた。

石井幼稚園では、園長と副園長、職員代表が出席し、新入園児の歓迎の言葉を述べた。園児の代表は、お話を聞いて、先生の話を聞こうと決意を述べた。入園式は、園児、保護者、職員、ご来賓の参加で、和やかな雰囲気で行われた。



石井幼稚園

開式東館幼稚園は、平成20年度がスタートした。今年度、石井幼稚園と東館幼稚園で合わせて47名の新入園児を迎え、入園式が行われた。石井幼稚園は、男子27名、女子13名、計40名。東館幼稚園は、男子30名、女子37名、計67名。入園式は、両園ともに午前10時から午後2時までの間、それぞれ園舎で行われた。

東館幼稚園では、園長と副園長、職員代表が出席し、新入園児の歓迎の言葉を述べた。園児の代表は、お話を聞いて、先生の話を聞こうと決意を述べた。入園式は、園児、保護者、職員、ご来賓の参加で、和やかな雰囲気で行われた。



東館幼稚園

町長は、前町長と鈴木朝子副町長を訪問し、きょう早朝から本朝まで、お話を伺った。市議会では、10月26日の市議会に、議案第100号「矢祭市立幼稚園の設置に関する条例の制定」を提案する。また、議案第101号「矢祭市立幼稚園の設置に関する条例の制定」を提案する。

市議会では、10月26日の市議会に、議案第100号「矢祭市立幼稚園の設置に関する条例の制定」を提案する。また、議案第101号「矢祭市立幼稚園の設置に関する条例の制定」を提案する。

**SMC新工場
早期着工要請**

前町長と副町長が本社訪問

矢祭町東館 電話 46-11003

記念品
贈答引
総合ギフト
大展示中
ホームショップ
そうだ
46-3107(代表)

祝吊用花輪

祭壇各種、葬具一式
生花、灯籠
さわや造花

矢祭町東館 電話 46-11003

桜が次々開花

真祭山公園の桜は、今年も早く咲き出し、来週には満開を迎える見込みだ。矢祭市立幼稚園の園舎前にも、桜の木が植えられ、春の訪れを告げる。

開花祭は、矢祭市立幼稚園と矢祭市立小学校で、3月26日から28日まで、桜の花をモチーフにしたお話を聞いたり、歌をうたったりする。また、園児たちが桜の花を紙で作って、公園に飾る。開花祭は、桜の開花に合わせて、園児たちに春の訪れを知らせ、桜の花の大切さや、自然の素晴らしさを伝える。開花祭は、桜の開花に合わせて、園児たちに春の訪れを知らせ、桜の花の大切さや、自然の素晴らしさを伝える。

アレンジ教室

開催のお知らせ

あす 9日(水)

午後7時より開きます。

***冠婚葬祭の生花承ります。**

フラワーデザインスタジオ
(佐川園芸内) さく丸
フラワーデザイナー 佐川靖矩
矢祭町大字高野字高野69 TEL・FAX 0247-46-3902
花のことならサクマルに!

美しい自然に培われた
伝統の名酒

南郷

含名会社 藤井酒造店
東白川郡矢祭町戸塚
電話 0247-3101(代)

折り鶴など装飾から日用品まで

白河信用金庫 矢祭支店・四月ロビー展



店(白河信用金庫矢祭支店)の(四月)ロビー(展示)は、(山)川(利)夫(社)長(か)ね(東)の(金)工(芸)品(展)示(し)を(展)示(し)る(は)。

入っは感心しながら見

【あゆ情報】

例年より早い天然遡上

関岡一わたなべ

茨城川の水産試験場(茨城)は、(四月)に(川)水(産)試(験)の(水)産(物)の(採)集(し)を(終)了(し)た(と)報(告)し(た)。

な養く良がる分いは流 る確がで(与ゆ 事うがら魚所憶年迄久現て槽ゆ城活水た釣に方なたのあでたれ所でのし下らのト年アと福 いた殖のいあ人(るが投のばはも高冷放月し保はくつ残なたせいあ十のつひあ上たうづが事 にはケ然食るでくまく少い水な病のべと捕い群る稚なか病すからおてつ(見えなか近方た食らつあのつ流なが注く餌た。るるたぐ維く記毎前 げ嗅いたはと稚あ行だと思 協連日付けはと判あゆの の共催会六漁水産内年薬のてう 然あゆ催大宮考え漁の協産ののの 然あ開陸を考え漁の協産ののの 然あ開陸を考え漁の協産ののの 然あ開陸を考え漁の協産ののの

祭十クサ▼若 中二ルトヤ 学校午一トヤ 開九講業レ かつ式土ジ からは曜学 矢 ス習

矢祭町短歌会二月詠草

八十五歳わが腕のまだまだ健在と 帯戸四枚丹念に磨く 雪景色眺めつつゆく散歩道 烏集いて何ついなばむや

近藤きい

雪をかく息子が振りむくその姿 鴉が啄ばむ前にと雪の朝 精巧きわむイービス艦が衝突し

佐藤ミサ子

門の辺に夫の植えたる福寿草 石に凭れ艶めくオモトの紅き実に 起き抜けに庭はなやぎて見ゆ

金澤京子

肩こると言えば曾孫ら争いて 小さきこぶしで肩叩きくれる 玉葱の安値に生産者を思う

宮崎ノブエ

雨樋を伝う雪解の水の音 重宝な運転免許を返上し スローライフの日々に戻りぬ

松本精次

体調のすぐれぬ我を案じ来し 兄は帰りゆくお茶も飲まずに しんしんと雪降る夜を湯をわかし

片野税子

南天も万両の実も食べつくせし 鴉は畑のキャベツに群れる 朝の食卓に冬野菜でつくりたる

近藤和夫

わが畑に育てし野菜でつくりたる 空には急ぐパトカーヘリのとびゆく 景境へ急ぐパトカーヘリのとびゆく

高澤寿雄

鈴木謙一